

平成21年度 県高P連大会

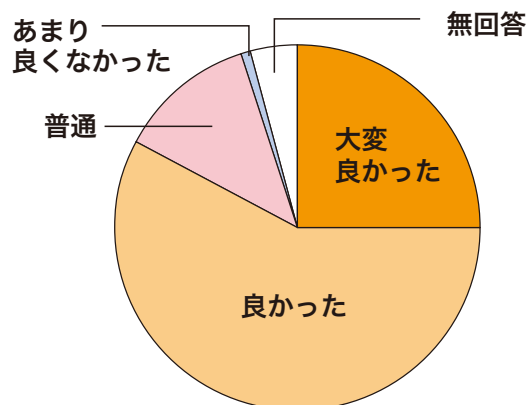
アンケート 集計結果 (回収 546 枚)

平成21年11月16日 (月) 実施 研修委員会

Q1. 今回の県大会についての感想

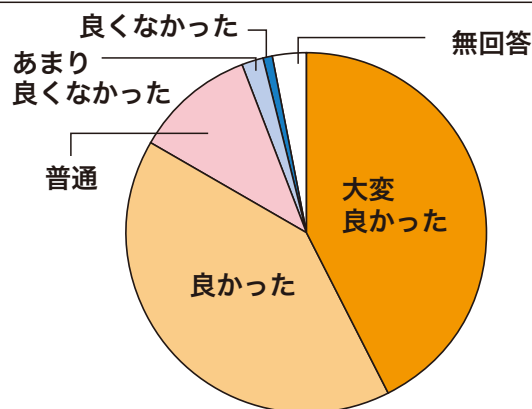
ア) 発表の内容

回 答	人数 (人)	割合 (%)
大変良かった	137	25
良かった	317	58
普通	64	12
あまり良くなかった	6	1
良くなかった	1	0
無回答	21	4



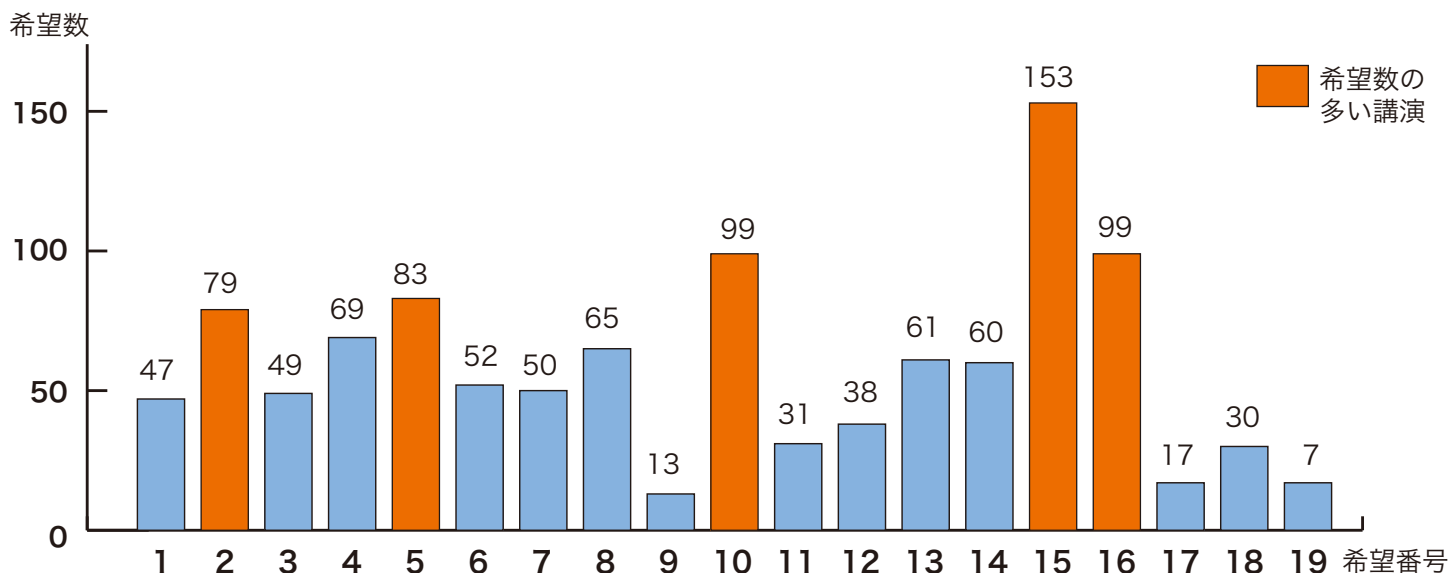
イ) 講演の内容

回 答	人数 (人)	割合 (%)
大変良かった	235	44
良かった	223	42
普通	57	11
あまり良くなかった	13	2
良くなかった	4	1
無回答	14	3



Q2. 今後の講演希望について (複数回答可)

1,災害時の子どもの安全確保 2,子どもの食生活 3,いじめ問題 4,不登校、引きこもり 5,携帯やIT普及と子どもの心
6,夜の徘徊や家出する子ども 7,少年犯罪の現状 8,親子関係とコミュニケーション 9,交通安全教育 10,エイズ・薬
物乱用防止 11,犯罪被害の実態とその対策 12,再編統合後の学校 13,新しい学校づくりとPTA 14,高校生に進路状
況と進路指導 15,ニート、フリーターの現状 16,学校とPTAの関わり方 17,同和・人権教育 18,PTA活動と人権問
題 19,その他 (子どもの心、幼少期の生活、子どもに目標を抱かせるような教育方法、しつけ、親自身を高めるもの、
学区撤廃後のPTAのあり方・変化・工夫、情緒力、忘れてはならない日本語と特徴、青少年の犯罪に関わること等)



ア) 発表の内容についての感想及び意見

- 三校それぞれに特色が良く出ていてすばらしい活動報告であり、発表だった。それぞれのPTAの良さを存分にアピールしていた。
- 三校の発表を通して、親と子がともに成長するためにはまず、親の成長が大切だとわかった。
- 三校のPTAが頑張っている姿を見聞して、保護者と学校と地域が全体で協力していく必要性を感じた。
- 三校とも興味深い内容でしかもテーマに沿って良くまとめられており、理解しやすいようによく工夫された発表だった。発表の仕方（声の大きさや発声などの点）もうまかった。
- 三校とも事前準備がしっかりできていて感心した。
- 三校の積極的なPTA活動に触れとても刺激になった。
- 自分たちのPTA活動を見直してみようと思った。
- PTAのあり方にもあらためて考えさせられ、気づかされることが多かった。
- 学校それぞれの特色はあるが、共通の悩みやテーマもあるので参考になった。
- いろいろなタイプの学校があるのだなと感じた。映像とともにわかりやすかった。
- 様々な切り口からの発表内容で参考になった。自分の学校でも実践してみたい。
- 子どもが高1の時に聞きたかった。その後の活動に生かせるから。
- 親子のコミュニケーションの大切さがわかった。
- PTAのためのPTAではなく生徒の成長のための一助になる活動がうりですね。
- PTAではあるが、活動の中心に生徒をおいている点が共通しているところだと思った。
- どの学校もアンケートや活動の内容が濃いので驚いた。
- アンケートの中に親や子どもの本音がちりばめられていて面白かった。
- 家庭の教育力が大切なことをあらためて考えさせられた。
- 各地区の発表を全て見る機会があればよいと思う。
- 他校のPTA活動を知る機会がなかったのでとても参考になり、勉強になった。
- 各校PTAの親としての力量を見た気がした。
- 学校・PTA全体でよりよくなるという意欲的な姿勢がうかがわれた。
- 各校によるPTA活動の違いや苦労がわかりよかった。
- 現在のPTA活動でも課題となっているような事柄がテーマとして扱われよかった。
- 学校紹介が多すぎると感じた。（鶴見総合高校PTAの発表に対して）
- 身近過ぎてかえって気づきにくい点に目を向けたのが良かった。
- 身近なテーマで説得力があり良かった。子どもの気持ち理解できた。反省し考えさせられた。
- できない子どもに対してどうしたらよいかについてもとりあげてほしかった。
- 「ありがとう」の言葉が大切だと思った。
- 子どもたちの食の実態がよくわかった。
- 高校生がまだ子どもだと見過ぎてはいないだろうか。
- 互いの助け合い 忘れがちな大切なことを思い出させてもらった。
- 「お手伝い」は親子のコミュニケーションの場ということ 同感です。

（金井高校PTA発表に対して）

- 地域とのつながりを大切にしている様子がよくわかった。
- たくさんのアンケートで客観的に問題を捉えた点は良かったが、「食育」迄辿り着いていないようだった。テーマが少しぼやけたのでは。
- 生活する上で「食」は大切なこと、子どもに教えていかななくてはいけないことと考えさせられた。
- 地域密着を掲げている特色が良くわかった。
- 思春期の子を持つ親としてとても良い勉強になった。もう一度親としての原点を見つめ直そうという気持ちになった。

（湘南高校PTAの発表に対して）

- 完成度の高い発表でとにかく素晴らしかった。圧倒された。さすが湘南高校だ。
- 会長のまるで講義を聴いているような発表に思わずひきこまれ、頭が下がる思いだった。
- 明瞭で爽やかでわかりやすい話し方が印象に残った。説得力があった。
- 湘南高校の素晴らしさに格差を感じた。
- ハザードマップがすばらしい。体育祭を見てみたい。
- 子どもたちの自立を、過度に手をかける事無くサポートされているに感銘を受けた。

- 冊子資料が立派で驚いた。
- モラルサポートは家庭でも必要だと感じた。
- 今後の活動にモラルサポートを是非取り入れたいと思った。
- 保護者自身の力量アップという新鮮な視点であった。
- アンケート結果（内容、座談会）が興味深く面白かった。

イ) 講演の内容についての感想

- 話が面白く興味深かった。すっかり引き込まれた。時間があっという間に過ぎた。
- お話が上手でわかりやすく最後まで飽きない楽しい講演でした。
- 一つの志を持ち、突き進む姿に感銘を受けた。
- 社会の動向や背景にしっかりと目を向け‘人’として何ができるか、必要かを教えられ取り組んでいらっしゃる姿勢に感銘を覚えました。子どもに対する見方も変えられそうな気がします。
- ‘子どもが好き’‘人間が好き’という人柄の良さが伝わった。
- 親しみやすい話術、チャーミングさに惹かれました。
- 正直な語り口が良かった。
- NGOのお話などが興味深かった。
- 今回でお話を聞くのは三回目でしたがどれも違う内容で良かった。
- 話の内容が多岐にわたり興味深く聞いた。
- 知らないこと（アフガン情勢、NGOのこと）がたくさんあり、あらためてまわりの社会に気づかされ、勉強になった。
- 難民問題についてもっと知りたいと思った。
- 小さな事から始まった大きなボランティアに感動した。
- 高い人権意識と人間への理解の必要性、未来への期待を失わない重要性を感じた。
- おだやかな口調で幅広い話題をお話下さり楽しくあたたかい気持ちになった。
- 子どもたちの真の姿を知る方法を教えていただいた。
- 日本の子どもたちは思っていたより良い子だと知ることができた。
- 本を読んでみようと思った。
- 話の切り口に新鮮さを感じた。
- 子どもの話をきちんと手を止めて聞くよう心がけたいと思った。人の話を聞くことの大切さを知ったので。
- あらためて人権問題について考えさせられた。
- 子どもと向き合ってみようという気になりました。
- 日本の子どもたちは「奇跡のようなよい子どもたち」という言葉に感動した。
- 子どもがもっと小さい時に聞きたかった。
- 行動に裏打ちされた説得力のあるお話でした。
- 「100人の村」以外の本も読んでみようと思った。
- 著書販売が無かったのが残念だった。印税に協力したかった。
- 核兵器のビデオが衝撃的だった。
- ペシャワール会のスライドも見てみたかった。
- 情報を鵜呑みにするのではなく必要な事はマスコミ任せにせず自ら求めていかなくてはならないと思った。
- 日本や世界が良くなるように頑張っている人がたくさんいることに感動した。
- 日々のくらしに追われて広い世界を見ていない自分に気が付いた。自分にできることを考えてみます。
- 同じ母親の立場としてまた、社会人として現実に即したお話がとても心にしみた。
- 「今時の子は」では何も生まれなかったと思った。子どもに対する肯定的であたたかい視線に励まされた。
- 今の子どもたちを大切にする社会にしていかななくてはと思った。
- 子どもにも聞かせたい話だった。
- 平和が当たりまえの日本とそうでない世界があるということを真剣に考えるべき機会をいただいたと思う。知らないままではいけないと思うことが多かった。
- ‘子育て’に対して前向きになれるエールをいただけたことが何よりだった。元気になって帰宅できる。
- 若者やメディアに対する見方、考え方のヒントをいただきました。
- PTAの大会からは目的や視点がずれていると感じた。
- 意見に一部偏りも見られたが、全体として大変参考になった。
- 一つ一つは良いエピソードだったが、最終的に何がおっしゃりたいのかわからなかった。

ウ) 希望する講演会・講師について

- ・茂木健一郎（脳科学者）・辻由規さんのお母様・アグネスチャン（タレント）・椎名誠（作家）・井上ひさし（作家）
- ・曾野綾子（作家）・島田洋七（タレント）・岩室紳也（民間公衆衛生医）・増田明美（スポーツジャーナリスト）
- ・桜井邦明（元神大学長）・小菅正夫（旭川動物園元園長）・野口健（アルピニスト）・黒岩祐治（元ニュースキャスター）
- ・笠井JR東海社長・水谷修（児童福祉運動家・夜回り先生）・藤田敬一（元岐阜大学教授）・小沢治夫（東海大教授）
- ・池上彰（フリージャーナリスト）・寺脇研（NPO教育支援協会チーフコーディネーター）・青木悦（教育ジャーナリスト）
- ・落合恵子（作家）・京谷和幸（車いすバスケット選手）・伊藤千尋（朝日新聞ジャーナリスト）・養老孟司（解剖学者）
- ・相浦やよい（親業インストラクター）・秋山仁（数学者）・具志堅幸司（大学教授）・島田紳助（タレント）
- ・櫻井よし子（ジャーナリスト）・尾木直樹（教育評論家）・江川紹子（ジャーナリスト）
- ・西川彰（三菱マテリアル相談役）・星野淳子（看護師・講師）・横田滋 早紀江夫妻・竹中平蔵（経済学者）
- ・北尾吉孝（SBIホールディングス代表取締役）・こんのひとみ（シンガーソングライターエッセイスト）
- ・日野原重明（医師）・中尾英司（家族カウンセラー）・松本英輝（エコロジスト）・和田秀樹（精神科医）
- ・美輪明宏（タレント）・樋口恵子（評論家）・桂歌丸（落語家）

エ) 希望する講演会・講師について

- 開始や終了の時間を守って欲しい。
- スムーズに進行して欲しい。時間を守って運営して欲しい。
- 大会進行は時間を守ってほしい。
- 定刻になったら開始すべきではないか。
- 大会全体の時間を短縮してほしい。11時～16時30分までの日程は長すぎる。
- 開会は10時、閉会は15時にしてほしい。
- 開始時間は昨年同様に10時くらいが良かったのでは。
- 開会式・表彰式を30分程度にできればよいのに。表彰式に時間をかけすぎ。
- 表彰式は必要なのか。どうしても県大会で行わなければならないのか。
- 午前日程にしてほしい。午前で終了すればお弁当もいらなくなる。
- 発表は午前中が良い。
- 講演会は午前中にしてほしい。
- 大会を半日日程にしてほしい。
- 来賓挨拶や表彰式の時間を短縮、簡略化してほしい。
- 来賓紹介は省略してもよい。
- 来賓挨拶は時間制限を設けるべき。あまりにも挨拶が長い。
- 国歌を全員で歌うのには驚いた。県歌とか高P連の歌とかがあればそちらの方がよかったと感じた。
- 団体表彰を受けたPTAの学校名を言って欲しかった。
- 形式的な表彰、感謝状は必要なのだろうか。
- パンフレットの不備はよくなかった。
- 受付で指定席のことを周知してほしかった。座席指定を知らずに着席する人が多かった。
- 発表校を3校から2校にしても良いのでは。
- 発表校を1校にしたらどうか。3校の発表はテーマ、内容とも素晴らしかったが一度に聞くとゴチャゴチャになる。
- 参加者の意識の高さを感じた。
- 初めての参加でしたが内容の濃さに驚いた。有意義な大会だった。
- 参加する委員が限られるのもっと一般PTAまで広げてもらいたい。
- 発表にもっと時間をかけてほしい。
- 講演会の際、講師の垂れ幕があると尚良かったかもしれない。
- 参加してよかった。
- 他の地区の発表を見ることができた良い機会だと思う。
- 内容の充実したすばらしい大会だった。